

1 基本情報

事業名称	乳幼児のむし歯ゼロ作戦				
事業目的	中区地域計画における「それぞれに合った健康増進習慣の確立」をめざし、次のことに取り組む。 ○中区はむし歯がある乳幼児が堺市で多い区である（3歳児健康診査のデータより）。2歳頃は乳臼歯（奥歯）が生え始める大事な時期であり、このタイミングに歯科保健指導を行うことで、乳幼児のむし歯を減少させ、かかりつけ歯科をもつ児の割合を増加させる。				
事業概要	○1歳6か月児健康診査時に中区に住民票のある2歳児に、むし歯菌活動性検査結果と2歳の歯科相談の案内を郵送し、積極的に受診勧奨を行う。 ○2歳時に保健センターで歯科健診と歯科保健指導を行い、希望者にはフッ化物歯面塗布を実施。受診から3～6か月後にフッ化物塗布手帳を活用し、地域の歯科医院を受診するよう勧奨する。 ○食生活や生活習慣について、必要時専門職につなぎ指導を行う。				
実施主体	中区役所中保健センター	実施場所	中区役所中保健センター	実施時期	令和7年4月～令和8年3月

2 設定指標

活動指標	2歳の歯科相談(むし歯ゼロ作戦)の受診率		R4	R5	R6	R7
		目標	60%	60%	65%	65%
		実績	49.1%	62.9%	60.2%	65.4%
成果指標	3歳児健康診査のう蝕罹患率の減少		R4	R5	R6	R7
		目標	12%	11%	10%	9.5%
		実績	13%	11.1%	11.7%	11.2%

3 事業評価

決算額		241,149		円											
①妥当性		◎		②費用対効果		○		⑤総合評価		○		評価基準			
2歳ごろは、乳臼歯が生え始める時期であり、歯みがきを嫌がる時期でもある。この時期に歯科指導を行うことで、乳幼児のむし歯予防と歯磨きに関する保護者支援につなげることができるため、事業を実施する妥当性が非常に高い。				他の健診と同日に、2歳児全数を対象に歯科検診・歯科保健指導を行うことで、より多くの児に効率的に事業を行うことができた。 以上のことから、本事業は費用対効果が高い。				・中区独自の取組として、むし歯のハイリスク児だけでなく、2歳児全数を対象として2歳の歯科相談を実施している。 ・う蝕罹患率について、R1:19.8%→R7:11.2%だが、ここ数年はほぼ横ばいではある。今年度は微減した。 ・歯科検診に来た児を、保健師や管理栄養士につなぐことによって、保護者や児に指導や情報提供を行うことができている。 ・むし歯ゼロ作戦の受診率がR6:60.2%→R7:65.6%に増加したのは受診勧奨の強化による効果と考える。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である				◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外			
③庁内・公民等連携		◎		④区の計画への寄与度		○									
保健センターでの歯科検診後は、地域の歯科医院につなぎ、かかりつけ歯科と連携して、継続したむし歯予防に地域で取り組むことができた。 以上のことから、本事業は連携の度合いが非常に高い。				本事業開始の令和元年度と令和7年度を比較すると、う蝕罹患率が19.8%から11.2%まで大きく減少しており、計画における「歯と口の健康教育の推進」の取組に寄与している。											

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	う蝕罹患率の減少について、ここ数年は横ばいである。	今後の方向性	継続
対応方針	未受診者に対し、多職種と連携し効果的な受診勧奨を行う。また、2歳でう蝕や要観察歯がある児には、地域の歯科医院の受診状況を確認し、未受診であれば受診するよう促す。		